

CASBEE-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取大学医学部付属病院第2立休室	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市西町80番地	構造	S造
用途地域	一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年6月20日
敷地面積	2,256 m ²	作成者	片山 晶博
建築面積	1,170 m ²	確認日	2019年7月4日
延床面積	3,450 m ²	確認者	長谷川 佳紀

外観/パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値
②建築物の取組み
③上記+②以外のオンサイト手法
④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
元々、多大な設備を用いる建物ではなく常時人がいないため省エネルギー、CO ₂ 排出には有利な建物であり、更に緑地を確保し環境に良い建物を目指す。	
Q1 室内環境 自走式駐車場のため、評価対象外	Q2 サービス性能 設備が少ないため、設備更新期間が長く、鉄骨躯体のみで構成されているために耐用年数の高い建物である
Q3 室外環境 (敷地内) 壁面緑化及び緑地帯(芝)を設けることで周囲と調和した親しみやすい外観、周辺住宅環境へ配慮をする	
LR1 エネルギー 自走式駐車場であるため、特に多大なエネルギーを消費しない。	LR2 資源・マテリアル 0
	LR3 敷地外環境 建物が接する東面はライトがあたらないようにライトグレア防止対策をしている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される